

この景色を未来へつなぐために。

登録5周年

ー世界遺産普及公開講座 in 那覇 2026ー

奄美・沖縄世界自然遺産の 今とこれから

登録5周年を迎えた奄美・沖縄の世界自然遺産、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」。この5年間、それぞれの登録地で世界遺産の普遍的価値を継承するためのさまざまな取組が行われています。奄美大島のマングース根絶、一部地域におけるエコツーリズム運営体制の整備などについては報道もあり知る機会がありましたが、登録資産の保存活用体制や現状と課題、関係行政の活動など取組全体を総合的に学ぶ機会は限られています。

本公開講座は、奄美・沖縄世界自然遺産における自然と文化の統合、コミュニティの参画、地域の伝統的知識の活用などの現状について理解を深め、これからの世界遺産や地域遺産の保存活用について考える機会を提供するため開催いたします。

2026. **7.11** (土)
14:30-17:00 (開場 14:00)

場所

沖縄県立図書館 3階ホール
沖縄県那覇市泉崎1丁目20番1号

参加費

無料

定員

70名 (先着順/申込不要)

アクセス

モノレール「旭橋駅」より徒歩3分
お車でお越しの方は近隣の有料駐車場をご利用ください。

お問い合わせ：Tel. 090-9477-2301 (濱口)

プログラム

- 14:30 ○ 趣旨説明 濱口 寿夫 (琉球弧世界遺産学会代表)
- 14:35 ○ 講演1 「知っておきたい世界遺産のこれまでとこれから」
花井 正光 (琉球弧世界遺産学会前代表)
- 14:55 ○ 講演2 「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産登録5周年を迎えて」
大林 圭司 (環境省沖縄奄美自然環境事務所所長)
- 15:15 ○ 講演3 「世界遺産 森の全ての恵みを地域が享受して守り活かす」
山川 安雄 (株式会社やんばるリンクス/国頭村議会議員)
- 15:35 ○ 休憩
- 15:50 ○ パネル討論 「世界遺産の枠組みと地域遺産の保存活用について考える」
登壇者：講演者3名+当真 嗣一 (グスク研究所主宰/琉球弧世界遺産学会理事)
司会：濱口 寿夫
- 17:00 ○ 閉会挨拶